

平成28年度 長崎ゆかりの文学展〈第1回企画展〉

長崎の島の物語

長崎は古くから壱岐・対馬・五島をとおして大陸との文化的、経済的交流があり、近世には平戸がヨーロッパ文化の窓口となるなど、歴史的に重要な役割を担ってきました。これらの島々では、周囲の自然的・社会的環境の影響を受けて、独特の文化が育まれました。

今回の企画展では、白石一郎や今井美沙子、吉田修一、司馬遼太郎、吉田絃二郎らの作品を通して、島を舞台にして繰り広げられる様々な物語を紹介します。

平成28年
4月26日火～6月26日日

※ 休館日：毎週月曜日及び月末日

開館時間 9:30～17:00

展示説明会 4月26日(火) 14:00～14:15

場所 長崎県立長崎図書館4階 郷土資料展示室

主催 長崎県立長崎図書館

後援 長崎新聞社 西日本新聞社長崎総局 朝日新聞社 毎日新聞社長崎支局
読売新聞西部本社 NHK長崎放送局 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎
NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ 長崎ケーブルメディア エフエム長崎

入場無料

第37回 (平成28年度 第1回) 県立長崎図書館講座

【日時】平成28年5月21日(土) 13:30～15:30

【場所】長崎県立長崎図書館 2階 講堂

【演題】「一吉村昭歴史小説の世界ー長崎を舞台とした小説をよむ」

【講師】本馬貞夫氏(長崎県長崎学アドバイザー)

※入場無料・申し込み不要

長崎県立長崎図書館

長崎市立山1-1-51

☎095-826-5257

<http://www.lib.pref.nagasaki.jp>

平成28年度 長崎ゆかりの文学 第1回企画展 「長崎の島の物語」 主な展示目録

	著者名	資料名	出版者	出版	備考
端島					
1	赤川 次郎	三毛猫ホームズの無人島			
2	大沢 在昌	海と月の迷路			
3	西木 正明	端島の女			
4	皆川 博子	聖女の島			
5	村上 龍	コインロッカー・ベイビーズ			
6	吉田 修一	キャンセルされた街の案内			
7	韓 水山	軍艦島			
鼠島					
8	山本 健吉	泳ぎ			『ことばの歳時記』夏の項
伊王島					
9	北原 白秋	「伊王島」長歌一首 反歌一首			歌碑「いにしへの流され人もかくありて すゑいきどほり海を睨みき」
崎戸島					
10	井上 光晴	虚構のクレーン			
平戸島・生月島					
11	宇能鴻一郎	鯨神			
12	足立 巻一 ほか／編	藤浦 洸「海の中の故郷・抄 わ が故郷は平戸にて」			『日本の旅名詩集 5 山陽山陰四国九 州』所収
五島					
13	白石 一郎	サムライの海			
14	今井美沙子	めだかの唄			
15	今井美沙子	めだかの心			
16	今井美沙子	めだかの列島			
17	今井美沙子	心の旅を一松下神父と五島の人々			
18	今井美沙子	彼岸花			
19	高塚かず子	生きる水			
20	中田 永一	くちびるに歌を			
21	新田 次郎	珊瑚			
22	花村 萬月	雲の影			
23	森 禮子	五島崩れ			
24	吉村 達也	「長崎の鐘」殺人事件			
25	佐木 隆三	復讐するは我にあり			
26	星野 智幸	虹とクロエの物語			
27	山田 かん	五島・奥浦にて			『山田かん全詩集』所収
28	草野 心平	ばっぶくどん			詩集『第4の蛙』所収
29	小海 永二 ／編	「五島荒川」(鳥巢敏行)			郷土の名詩 西日本篇 鑑賞のための アンソロジー
30	頼原 退蔵	カンコロの話			『頼原退蔵著作集』第20巻
31	山上 億良	好去好来の歌一首 反歌二首			『万葉集』巻5-894
老岐					
32	釈 迺空	〔書画〕やまきしにひるをちむしの なきみちてこのしづけさに身はつか			

33	積 遼空	葛の花			
34	高樹のぶ子	波光きらめく果て			
35	『万葉集』	<ul style="list-style-type: none"> ・わたつみの恐き道を安けくも…… (六鱗) ・昔より言ひけることの韓国の…… (六鱗) ・新羅へか家にか帰る壱岐の島…… (六鱗) ・石田野に宿りする君 家人の…… (雪連宅満) 			巻15-3694 巻15-3695 巻15-3696 巻14-3689 (石田町 万葉公園 歌碑)
対馬					
36	山川 和男 ／編	対馬の文学案内			
37	菅野 慶全	対馬の子供たち	1995		長崎出版文化協会
38	横山 理吉	対馬行	2007		桜門書房
39	門田 泰明	存亡 続	2009		徳間書店
40	福岡市文学 館／編	大西巨人 走り続ける作家	2008		福岡市文学館
41	菅野 慶全	島のうた	1995		長崎出版文化協会
42	菅野 慶全	ゴンと純ちゃん ツシマヤマネコ物語	1998		清文堂
43	大西 巨人	神聖喜劇			
44	白石 一郎	海狼伝			
45	吉田絃二郎	磯ごよみ			
46	吉田絃二郎	島の秋			
47	橋川文三	対馬幻想行			
48	足立 卷一 ／ほか編	日本の旅名詩集 5 山陽山陰四国九州			安西 均「対馬 巖原にて」
49	『万葉集』	<ul style="list-style-type: none"> ・百船の泊つる対馬の浅茅山……(遣新羅使) ・天離る鄙にも月は照れれども…… (遣新羅使) ・秋されば置く露霜にあへずして… … (遣新羅使) 			巻15-3697 巻15-3698 巻15-3699
壱岐・対馬					
50	司馬遼太郎	街道をゆく 第十三巻 壱岐・対馬の道			
51	劉 寒吉 ／編	長塚節と壱岐・対馬			九州文学 No. 329/第35巻第7号
軍艦島・伊王島・崎戸・生月島・福江島・壱岐・対馬					
52	佐藤洋二郎	島の文学を歩く			